

中部地方整備局同時発表

平成 28 年 11 月 18 日
道 路 局

ダブル連結トラック実験の開始について

ダブル連結トラック実験について、11月22日(火)より、まずは車両長21m^{*}のトラックについて、省人化や交通流への影響等のデータ収集のための走行を開始します。あわせて、高速道路のSA・PAを活用した中継輸送の実験も実施します。

※特車許可基準の緩和前の最大値

国土交通省では、トラック輸送の省人化を促進し、生産性向上を図るため、1台で通常の大形トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入を目指しています。

10月19日より実験参加者を公募(車両長19m超~25m)し、以下の実験について準備が整いましたので、新東名を中心とするフィールドで実験を開始します。

① ダブル連結トラック実験

開始日時：平成28年11月22日(火) 7時~(予定)

実験参加車両：車両長21m(特車許可基準の緩和前の最大値)

走行区間：①埼玉県狭山市~愛知県豊田市(2台/日)

②群馬県太田市~三重県鈴鹿市(4台/日)

② 高速道路のSA・PAを活用した中継輸送実験

開始日：平成28年11月22日(火)~

実験箇所：新東名 清水PA

なお、実験参加者は引き続き公募しており、順次実験車両が追加される予定です。また、21m超~25mの車両についても、現在、民間事業者で開発に向けた検討が進められているところです。

<お問い合わせ先>

【実験について】

道路局高速道路課有料道路調整室 課長補佐 門間

代表：03-5253-8111(内線38-382) 直通：03-5253-8491 FAX：03-5253-1619

道路局企画課道路経済調査室 課長補佐 加納

代表：03-5253-8111(内線37-622) 直通：03-5253-8487 FAX：03-5253-1618

平成 28 年 11 月 18 日
国土交通省中部地方整備局

ダブル連結トラック実験の開始について

<概要>

ダブル連結トラック実験について、11月22日(火)より、まずは車両長21m※のトラックについて、省人化や交通流への影響等のデータ収集のための走行を開始します。あわせて、高速道路のSA・PAを活用した中継輸送の実験も実施します。 ※特車許可基準の緩和前の最大値

国土交通省では、トラック輸送の省人化を促進し、生産性向上を図るため、1台で通常的大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入を目指しています。

10月19日より実験参加者を公募(車両長19m超~25m)し、以下の実験について準備が整いましたので、新東名を中心とするフィールドで実験を開始します。

①ダブル連結トラック実験

開始日時：平成28年11月22日(火)7時~(予定)

実験参加車両：車両長21m(特車許可基準の緩和前の最大値)

走行区間：①埼玉県狭山市~愛知県豊田市(2台/日)

②群馬県太田市~三重県鈴鹿市(4台/日)

②高速道路のSA・PAを活用した中継輸送実験

開始日：平成28年11月22日(火)~

実験箇所：新東名 清水PA

※実験スタートの状況は三重県鈴鹿市(10時頃)において撮影して頂きます。取材をご希望される方は下記問い合わせ先までご連絡下さい。

なお、実験参加者は、引き続き公募しております。また、21m超~25mの車両についても、現在、民間事業者で開発に向けた検討が進められているところです。

配布先：中部地方整備局記者クラブ

<問い合わせ先> ダブル連結トラック実験協議会 事務局

国土交通省 中部地方整備局 道路部 交通対策課長 みす あきひろ 翠 昭博

TEL 052-953-8178 (直通)